



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月8日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東
 コード番号 6324 URL <http://www.hds.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丸山 顕 (TEL) 03-5471-7810
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	26,646	△9.9	115	△84.6	420	△60.1	182	—
2020年3月期第3四半期	29,581	△43.4	754	△94.7	1,052	△92.8	△536	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,410百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △1,543百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	1.90	—
2020年3月期第3四半期	△5.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	134,717	106,804	75.5
2020年3月期	127,427	102,297	76.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 101,743百万円 2020年3月期 97,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△1.3	1,000	—	1,100	120.4	500	—	5.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	96,315,400株	2020年3月期	96,315,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	52,300株	2020年3月期	52,225株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	96,263,123株	2020年3月期3Q	96,263,175株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)における当社グループの業績は、前半は世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、世界規模で設備投資に慎重な姿勢が見られました。秋口以降、日本を含むアジア市場を中心に生産活動の正常化が進み、自動化・省人化を目的とした設備投資が再開し、受注において一定の底打ち感が見られました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、車載向け、アミューズメント機器向けが減少したことに加え、欧米諸国の制限措置による経済活動の低迷により、欧米地域の主要用途は総じて減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9.9%減少の266億46百万円となりました。

損益面につきましては、このような厳しい事業環境に対応するため、徹底した経費管理によるコスト削減に取り組んでまいりましたが、売上高の減少による影響を吸収するには至らず、営業利益は前年同期比84.6%減少の1億15百万円となりました。営業利益は減益となった一方、法人税等調整額を△3億79百万円(前年同期は7億1百万円)計上したことによる税金費用の減少に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億82百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億36百万円)となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比5.9%減少の209億83百万円、メカトロニクス製品が同22.2%減少の56億63百万円で、売上高比率はそれぞれ、78.7%、21.3%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

日本を含むアジア市場を中心に生産活動の正常化が進み、自動化・省人化を目的とした設備投資が再開したことにより、産業用ロボット向けをはじめ、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向けなどの需要が回復し、売上高は前年同期比5.2%増加の151億30百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、増収と経費の削減により、前年同期比43.2%増加の25億73百万円となりました。

(北米)

新型コロナウイルスによるロックダウンの影響により、主にアミューズメント機器向けの需要が減少したことに加え、経済活動の停滞により設備投資需要が総じて減少したことにより、売上高は前年同期比18.5%減少の39億86百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、前年同期比72.5%減少の2億52百万円となりました。

(欧州)

お客様における在庫調整の影響を受けたことに加え、新型コロナウイルスの影響を受け、市場全般で需要が低調に推移したことにより、主に産業用ロボット向け、その他一般産業機械向けの需要などが減少し、売上高は前年同期比26.9%減少の75億30百万円となりました。また、減収の影響に加え、ハーモニック・ドライブ・エスイー株式取得時に計上した無形資産に係る償却費11億11百万円の負担により、5億96百万円のセグメント損失(経常損失)(前年同期はセグメント損失1億33百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて72億89百万円増加（前連結会計年度末比5.7%増）し、1,347億17百万円となりました。これは、保有する関係会社株式の時価が上昇したことにより、関係会社株式が65億94百万円増加（前連結会計年度末比80.0%増）したことに加え、現金及び預金が33億16百万円増加（前連結会計年度末比17.0%増）したことが主な要因です。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて27億83百万円増加（前連結会計年度末比11.1%増）し、279億12百万円となりました。これは、繰延税金負債が21億73百万円増加（前連結会計年度末比23.4%増）したことが主な要因です。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比で45億6百万円増加（前連結会計年度末比4.4%増）し、1,068億4百万円となりました。これは、期末及び中間配当を実施したことにより、利益剰余金が17億42百万円減少（前連結会計年度末比3.1%減）した一方で、その他有価証券評価差額金が47億1百万円増加（前連結会計年度末比115.1%増）したことが主な要因です。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.4%から75.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月11日に公表しました2021年3月期に係る通期の連結及び個別業績予想を修正しております。当該内容につきましては、本日（2021年2月8日）公表の「2021年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,554,409	22,870,882
受取手形及び売掛金	7,245,980	9,120,315
有価証券	16,260	17,090
商品及び製品	1,153,655	896,246
仕掛品	1,626,935	1,984,544
原材料及び貯蔵品	2,975,104	2,912,667
その他	3,438,103	835,624
貸倒引当金	△21,991	△24,068
流動資産合計	35,988,458	38,613,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,304,222	20,690,938
機械装置及び運搬具（純額）	15,246,079	13,793,190
その他（純額）	8,950,154	8,384,422
有形固定資産合計	45,500,456	42,868,550
無形固定資産		
のれん	10,779,567	10,941,803
ソフトウェア	377,521	295,017
顧客関係資産	19,416,055	19,708,273
技術資産	5,185,744	5,263,791
その他	32,995	56,660
無形固定資産合計	35,791,884	36,265,546
投資その他の資産		
投資有価証券	352,970	506,829
関係会社株式	8,256,305	14,850,318
退職給付に係る資産	984,306	1,013,420
繰延税金資産	420,973	488,475
その他	137,734	116,632
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	10,146,690	16,970,075
固定資産合計	91,439,032	96,104,173
資産合計	127,427,490	134,717,476

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,472,758	1,666,216
短期借入金	237,336	226,337
1年内返済予定の長期借入金	734,707	883,761
リース債務	293,502	307,382
未払法人税等	128,791	233,436
賞与引当金	634,691	453,969
役員賞与引当金	96,055	109,515
製品補償損失引当金	148,460	147,834
その他	1,381,335	2,430,161
流動負債合計	5,127,639	6,458,615
固定負債		
長期借入金	5,991,294	5,379,914
リース債務	3,003,643	2,875,196
繰延税金負債	9,278,394	11,452,043
役員退職慰労引当金	509,560	501,180
その他の引当金	124,869	128,471
退職給付に係る負債	930,637	955,221
その他	163,721	162,262
固定負債合計	20,002,120	21,454,291
負債合計	25,129,759	27,912,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	30,225,361	30,211,041
利益剰余金	56,729,713	54,987,117
自己株式	△38,280	△38,731
株主資本合計	94,016,830	92,259,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,084,638	8,786,291
為替換算調整勘定	△557,379	811,003
退職給付に係る調整累計額	△135,821	△113,333
その他の包括利益累計額合計	3,391,437	9,483,960
新株予約権	625,511	625,511
非支配株主持分	4,263,952	4,435,633
純資産合計	102,297,730	106,804,569
負債純資産合計	127,427,490	134,717,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	29,581,372	26,646,490
売上原価	20,068,661	18,072,670
売上総利益	9,512,710	8,573,819
販売費及び一般管理費	8,758,600	8,457,888
営業利益	754,109	115,930
営業外収益		
受取利息	27,012	28,293
受取配当金	119,988	135,932
為替差益	52,027	—
補助金収入	46,310	36,161
その他	308,218	354,363
営業外収益合計	553,557	554,751
営業外費用		
支払利息	74,591	80,406
売上割引	33,429	13,182
有価証券評価損	166	—
持分法による投資損失	47,758	17,611
為替差損	—	118,952
租税公課	62,144	—
その他	36,619	20,465
営業外費用合計	254,711	250,618
経常利益	1,052,956	420,063
特別利益		
固定資産売却益	10,588	499
補助金収入	60,410	60,410
特別利益合計	70,998	60,909
特別損失		
固定資産売却損	511	—
固定資産除却損	35,422	17,706
固定資産圧縮損	60,410	60,410
特別退職金	15,200	201,928
役員退職特別加算金	—	37,040
特別損失合計	111,543	317,084
税金等調整前四半期純利益	1,012,411	163,887
法人税、住民税及び事業税	515,797	412,764
法人税等調整額	701,533	△379,402
法人税等合計	1,217,330	33,362
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△204,918	130,525
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	331,820	△52,142
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△536,738	182,667

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△204,918	130,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116,503	4,701,652
為替換算調整勘定	△1,475,505	1,551,122
退職給付に係る調整額	20,550	27,154
その他の包括利益合計	△1,338,451	6,279,929
四半期包括利益	△1,543,369	6,410,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,548,594	6,275,191
非支配株主に係る四半期包括利益	5,224	135,263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,386,258	4,889,564	10,305,549	29,581,372	—	29,581,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,300,588	16,050	102,894	2,419,533	△2,419,533	—
計	16,686,847	4,905,614	10,408,444	32,000,905	△2,419,533	29,581,372
セグメント利益又は損失(△)	1,797,071	916,103	△133,623	2,579,551	△1,526,595	1,052,956

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,526,595千円には、セグメント間取引消去△208,827千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,317,767千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高4,278,008千円が、欧州地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるドイツの売上高3,968,334千円が含まれております。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,130,252	3,986,063	7,530,174	26,646,490	—	26,646,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,003,926	4,067	28,390	2,036,385	△2,036,385	—
計	17,134,178	3,990,131	7,558,565	28,682,875	△2,036,385	26,646,490
セグメント利益又は損失(△)	2,573,606	252,043	△596,770	2,228,878	△1,808,815	420,063

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,808,815千円には、セグメント間取引消去△374,337千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,434,478千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高3,467,979千円が、欧州地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるドイツの売上高2,730,319千円が含まれております。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(重要な契約の解消)

当社は、2021年1月29日開催の取締役会において、ナブテスコ株式会社（以下、ナブテスコ社）との協業関係を解消し、同社との間で締結している基本協定書を解消することを決議いたしました。

1. 契約解消の理由

当社とナブテスコ社は、2005年12月に米国において合弁会社を設立し、以後、北米市場における波動歯車装置事業の拡大に努め、更には、両社における協業関係をモーションコントロール分野全般へ拡大し、新市場の創造を模索してまいりました。これまでの本協業の取組みにより、波動歯車装置に係る米国合弁事業では一定の成果を生み出してまいりました一方で、新市場の創造につきましては、これを実現すべく取り組んできたものの、両社が夫々保有する技術、製造ノウハウ、主力製品の市場性の違いなどから、当初に期待したシナジーを創出するには至らぬ状況となっております。このような経過と実績を踏まえ、ナブテスコ社と合意の上、当該協業関係を解消することについて決議いたしました。

2. 契約の相手方の名称

ナブテスコ株式会社

3. 契約解消の時期

2021年1月29日

4. 解消する契約の内容

モーションコントロール分野全般の協業並びに米国合弁会社（Harmonic Drive L.L.C.）の共同運営

5. 契約の解消が営業活動等へ及ぼす重要な影響

本協業関係の解消による当社の事業活動及び当期（2021年3月期）以降の業績への影響は軽微であると判断しております。

(子会社の増資)

当社は、2021年2月8日開催の取締役会において、米国の当社100%子会社であるHD Systems, Inc. への増資を行うことを決議いたしました。

なお、当該増資に伴い当該子会社に対する出資の額が当社の資本金の100分の10以上に相当することとなるため、HD Systems, Inc. は当社の特定子会社となります。

1. 増資の目的

ナブテスコ社との協業解消に伴い、当社の米国子会社（HD Systems, Inc.）は、ナブテスコ社の米国子会社（Nabtesco USA Inc.）との合弁会社（Harmonic Drive L.L.C.）の持分49.0%について、合弁契約の定めに従い、Nabtesco USA Inc. から買い取る予定です。本増資は、米国子会社HD Systems, Inc. が、当該持分の買い取り資金に充当することを目的に実施するものです。

2. 子会社の概要

(1) 名称	HD Systems, Inc.
(2) 代表者	President 長井 啓
(3) 所在地	米国マサチューセッツ州 ピーボディー
(4) 設立年月	1987年2月
(5) 増資前の資本金（資本剰余金含む）	1,300千米ドル
(6) 決算期	12月末日
(7) 出資比率	当社 100%

3. 増資の概要

(1) 増資額	28,000千米ドル
(2) 増資後の資本金（資本剰余金含む）	29,300千米ドル
(3) 払込期日	2021年2月17日（予定）
(4) 増資後の出資比率	当社 100%

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	14,384,858	10.8
	メカトロニクス製品	2,881,990	△24.1
北米	減速装置	1,730,119	△24.6
	メカトロニクス製品	1,167,518	△4.7
欧州	減速装置	4,346,176	△23.7
	メカトロニクス製品	1,418,441	△31.9
合 計		25,929,104	△7.7

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	14,036,302	73.6	3,686,210	72.0
	メカトロニクス製品	2,195,305	10.1	360,835	49.8
北米	減速装置	2,081,320	3.4	1,106,459	△14.1
	メカトロニクス製品	1,915,747	31.7	943,901	45.4
欧州	減速装置	4,789,507	△13.9	2,399,210	△4.6
	メカトロニクス製品	2,166,609	5.5	909,445	6.5
合 計		27,184,793	28.5	9,406,061	22.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。
 6. 受注残高は、当第3四半期連結累計期間において日本セグメントを中心に発生した前四半期以前の受注分に係る222,651千円の受注取り消し額を差し引いております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（％）
日本	減速装置	13,080,313	9.0
	メカトロニクス製品	2,049,939	△9.6
北米	減速装置	2,398,339	△21.2
	メカトロニクス製品	1,587,723	△14.7
欧州	減速装置	5,504,484	△24.2
	メカトロニクス製品	2,025,689	△35.6
合 計		26,646,490	△9.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結累計期間	
	販売高（千円）	割合（％）
株式会社羽根田商会	3,611,992	13.6

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
4. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
5. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
6. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	7,530,174	3,986,063	2,547,268	14,063,506
II 連結売上高(千円)	—	—	—	26,646,490
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	28.3	15.0	9.6	52.8

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
(1) 欧州……ドイツ
(2) 北米……米国
(3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。